

授業科目

スポーツと法

担当教員名 武田 丈太郎	対象学年	3・4	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎

授業の概要

スポーツの高度化・大衆化によって、スポーツと法の関係は、より深く広くなってきた。それに伴い、スポーツに関する様々な法的問題が発生するとともに、スポーツと法の関係に対して関心が高まっている。本授業は、スポーツ法の対象及び体系等を理解するとともに、スポーツ現場で起きている事例を分析しながら進めていく。

授業の目的

スポーツ法学の全体像を把握するために、スポーツ法の対象及び体系等を理解し、体罰・ドーピング・プロスポーツ選手の契約・スポーツ事故の法的責任等、スポーツ界で実際に起きている事例を取り上げて、スポーツが直面している法的問題について理解を深める。また、事例を分析することで、スポーツ界の問題点や課題について把握し、健康・スポーツに関わる指導者等に必要な責任感や倫理観を身につける。

学習目標

1. 講義の目的、内容、評価について理解する。
2. スポーツと法の関わり、スポーツ法の体系について理解し、説明することができる。
3. スポーツ界に存在する法的問題について、討議することができる。
4. 事例を分析し、各々の問題点や課題について明らかにすることができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	講義の目的、内容（スポーツ法の概説）、評価方法	講義	武田 丈太郎
2	社会におけるスポーツと法の関わり	講義	武田 丈太郎
3	スポーツ団体と法（所属団体、派遣団体、主催団体等）の概要	講義・討議	武田 丈太郎
4	スポーツ団体と法（所属団体、派遣団体、主催団体等）の分析	討議・発表	武田 丈太郎
5	スポーツと人権 1（暴力・体罰）の概要	講義・討議	武田 丈太郎
6	スポーツと人権 1（暴力・体罰）の分析	討議・発表	武田 丈太郎
7	スポーツと人権 2（障がい者・国籍）の概要	講義・討議	武田 丈太郎
8	スポーツと人権 2（障がい者・国籍）の分析	討議・発表	武田 丈太郎
9	スポーツと人権 3（男女の平等）の概要	講義・討議	武田 丈太郎
10	スポーツと人権 3（男女の平等）の分析	討議・発表	武田 丈太郎
11	トップスポーツと法（オリンピック・ドーピング）の概要	講義・討議	武田 丈太郎
12	トップスポーツと法（企業スポーツ・プロスポーツ）の概要	講義・討議	武田 丈太郎
13	トップスポーツと法の分析	発表	武田 丈太郎
14	体育・スポーツ事故（法的責任・リスクマネジメント・補償）の概要	講義・討議	武田 丈太郎
15	体育・スポーツ事故（法的責任・リスクマネジメント・補償）の分析	討議・発表	武田 丈太郎

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	導入によるスポーツ法学第2版	小笠原正他（編著）	不磨書房	2007年		
	スポーツ六法 2011	小笠原正（監修）	信山社	2011年		
その他の資料						

評価方法

レポート(50%)、発表(40%)及び授業への貢献度(10%)により評価する。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：毎週水曜日昼休み(12:10～13:10)

研究室：O棟402

連絡先：jotaro-takeda@nuhw.ac.jp